

西三河野生生物研究会会報「三河生物」投稿規定（改訂第6版）

- 1 投稿は本会の会員に限る。ただし、本会が依頼したときはこの限りではない。共著の場合は、著者名は会員を第一著者として書くことを原則とする。できない理由がある場合は事務局、あるいは編集幹事に相談する。
- 2 原稿の内容は、野生生物に関する調査・研究報告、総説（解説）、短報、情報、随筆などとする。範囲は西三河に限定しない。また、原則として他にほぼ同じ内容のものを発表・投稿している場合は、本誌には掲載しない。掲載枚数は刷り上がりで10ページを上限とする。それを越える場合は分割して掲載するか、一括掲載の場合は、超過分を著者で印刷費を負担とする。ただし、10枚以下の報文を複数掲載する場合や研究会が依頼した場合、編集会議でその必要性が認められた場合などはこの限りではない。
- 3 原稿は次の点に留意して作成する。
 - (1) PCのデータファイルとして作成する場合
 - ・文章・図表・写真を、およそレイアウトしたものを一太郎、Word形式のファイルで編集幹事へ提出する。図表・写真の本文とは別のファイルで併せて提出する。なお、最終ページが半分以上空白にならないようにする。
 - ・添付する図や写真はjpeg形式ファイル、表はExcel・Lotus形式のファイルを原則とする。
 - ・A4版縦、1行**44文字 × 44行**。余白は上下**30mm**、左右**22mm**。
 - ・タイトルや見出しは「MSゴシック」、本文は「MS明朝体」のフォントを使用する。句読点は全て「、。」とする。タイトルは和文に加えて、可能な範囲で英文のタイトルをつける。さらに英文のsummaryをつけてもよい。研究会のホームページにタイトルと著者名を掲載ページと共に掲載する。支障がある場合は、投稿時に事務局幹事かホームページ担当幹事に連絡する。
 - ・**報文タイトルは13ポイント**、本文は10.5ポイント、図表のキャプションはMS・ゴシックで9ポイント、可能な範囲で英文著者の所属や住所は10.5ポイント。**学名などの欧文フォントは原則として、Times New Romanを使用する**。なお、日付を文章中に入れる場合はMS明朝、目録などでデータとして使う場合はTimes New Romanを用いる。
 - ・執筆者名は姓と名の間は、半角スペースを挿入し、原則としてローマ字の表記もつける。
例：美川 修志 MIKAWA Osamushi
 - ・提出方法は、ファイルをメールに添付して送信するか、CDやUSB接続のフラッシュメモリなどのメディアに入れてデータとして提出する。短いものはメールに直接打ち込んでもよい。
 - ・レッドリスト掲載種や法律等の規制を受けている種、現象や絶滅が心配される生物については、編集員会でも検討し、掲載の見送りも含め、載せ方には十分に配慮する。
 - ・読み手の立場を考え、長い文章の場合は細かく段落に分けたり、内容に合わせた小見出しをつけたりし、画像や図を挿入することが望ましい。
 - (2) 手書きの場合
 - ・基本はPCでの作成に準ずる。
 - ・400字詰め横書き原稿用紙に楷書する。
 - ・図は白紙1枚に1図ずつ、黒インク等で鮮明に仕上げる。
 - ・図表のタイトルは鉛筆書きとする。図中の挿入文字は、縮尺を考慮して大きさを加減する。（A4の刷り上がり最大で横135mm、縦200mm、最小で横70mm程度となる希望する図表サイズを鉛筆で記入すること）
 - ・その他については、事務局あるいは編集幹事に相談する。
 - (3) その他
 - ・情報、新刊紹介、刊行物紹介などについては、自由な形式でメールまたは手書きで編集担当まで送付する。なお、体裁については編集幹事・幹事会に一任する。
- 4 掲載の順序、各種の表記方法や体裁等については、編集幹事・幹事会に一任すること。

5 執筆者には版下のpdfデータを送付する。会員以外へ原稿依頼をした場合や会員以外の共同執筆者がある場合は、会長の判断により必要部数を贈呈する。ただし、著者が別刷りを自費で作成したい場合は投稿時に事務局に連絡する。

6 原稿送付先

会報編集幹事：小鹿 亨 Eメール：ip7m8x6n@na.commufa.jp

〒446-0001 愛知県安城市里町雁戸塚40-3 TEL0566-98-6685

記載例

タイトル (13p MSゴシック)

英文タイトル (13p MSゴシック)

.....(1行空け).....

美川修志 MIKAWA Osamushi (10.5 p MS-明朝)

(〒***-****1 ○○市○○町2-1-52) 10.5 p

.....(1行空け).....

1 はじめに (見出しは 10.5 p MSゴシック)

編集時につけるので入れなくてよい

.....

・(10.5 p MS明朝)

.....(1行空け).....

2 方法

.....

・(10.5 p MS明朝)

.....(1行空け).....

(1) ○○○○ (10.5p MSゴシック)

表1 ○○○○ (9p MSゴシック 左寄せ)



図1 ○○○○ (9p MSゴシック 左寄せ)

3 調査結果 (10.5p MSゴシック)

これに続く本文は左行頭からMS明朝で

(1) 期間

これに続く本文は左行頭から

① 場所

これに続く本文は左行頭から

A 時間

これに続く本文は左行頭から

a 備考

これに続く本文は左行頭から

4 引用文献 (10.5p MSゴシック)

緒方清人, 1997. ワスレナグモ (*Calommata signata*) の集団住居について, 蜘蛛. 29:11-14.

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. 306pp. 偕成社, 東京.